



## 平成28年度通常総会のご報告



5月20日（金）に商工会館で開催され、48名（委任状含め111名）の会員の方にご出席いただきました。

事業計画としては、地域経済及び需要分析を把握し、会員事業者の経営計画の策定や販路拡大に向け、補助金の活用・研修機会の提供・専門家の派遣等を行う「伴走型小規模事業者支援推進事業」の計画を下に、定期巡回訪問による意向調査及び経営相談の機会を増やす

こと、観光交流人口等を地域の消費（需要面）づくりとして、地域資源を最大限に活用する「地域ブランディング（知名度品開発、観光プログラム、資源の価値発掘などの総称）」について専門家を登用し、行政・観光協会・農協等の地域機関と連携した検討会議・計画づくりの推進について説明がなされた。

続いて、若者や異業種の創業、空き店舗の利活用、中心市街地の活性化、観光・農商工連携の課題では池田町の第4次総合計画やまちづくり戦略について地域で連携を図ること、商店街活性化センターのプランづくり（計画づくり研修・リーダーづくり）の実施や各部会活動の企画等の説明がなされ、その後に予算説明、規約の改正等の議案承認がされました。久野副町長に祝辞をいただき、田井議長、行政担当者、道商工連職員に来賓としてお越しいただきました。

### お知らせ

### 花壇整備「花植え」を6月6日(月)に実施します。



今年の「花植え」はマリーゴールド、ペチュニアを予定しております。事前準備（雑草取り）及び当日のご協力について宜しくお願いいたします。

## 地域ブランディング・まちづくり全国事例



### 島根県 海士町 地域活性化のキーパーソン 山内道雄町長

「ないものはない」このキャッチコピーを掲げる海士町には、不便な離島でありながら、ここ10数年で**500人を超える人々が移住**している。

2002年、山内道雄町長は、続く財政難や少子高齢化に歯止めをかけるため、手はじめに自らの給与を半分までカットした。すると、それに職員や町議などが続き、大幅な人件費削減に成功。浮いた予算で最新技術を導入し、新鮮な海産物を島外に出荷できる「ふるさと海士」を立ち上げ子育て支援や教育にも力をいれていった。

すると、こうした島ぐるみの取り組みが感化され、徐々に移住者が増えはじめた。しかも一流企業に勤めていた若者が新しい仕事をつくるためにやってくるという。海士町では、Iターン者に対して金銭的な補助を行っているわけではない。ただし、「**本気で何かをやりようとしている人**」には、行政が全力で支援する。

人口2,354名（2015年）

面積33.52km<sup>2</sup>

①総合振興計画は、**グッド**

**デザイン賞受賞。**

②ふるさと海士は、**第三セク**

**ター方式で売上2億以上。**

③島前高校魅力化プロジェクト

年200名以上の親子が視察 「たとえば干しナマコを事業化したいという若者」がいたので、予算を割いて工場をつくりました。  
④交流研修センター「三燈」 彼が行動することで漁師に仕事が生まれますから。移住してきた若者に聞くと、最後の決め手はこう  
「島留学制度」など宿泊研修 した役場や島全体の前向きな雰囲気だったといいました。  
※コミュニティデザイナー山崎亮 移住者が移住者を呼び込む循環の根本にあるのは、自分たちの力で前にすすもうという島全体の  
氏が総合計画づくりに参画 意思と言える。 (地域ブランディング情報誌より参照掲載)

# まちに変化を！

まちおこし推進員として就任された地域おこし協力  
隊員3名のご紹介をさせていただきます。

ヤマモト ノリコ  
**山本 紀子**さん

池田町の皆様こんにちは。池田町地域おこし協力隊  
2年目・町おこし推進員の山本紀子です。  
出身は四国の愛媛県です。進学や仕事で神戸、東京  
、神戸と移り住みデザイン関連の仕事  
をしていましたが、北海道と羊に憧れ  
3年前に音更町に移住しました。  
協力隊に任用された昨年度より池田  
町に住み、仕事・生活の両面を、池  
田町の魅力や温かい町の方に支えら  
れております。  
池田町が盛り上がるために努力して  
まいりますので、ご指導ご鞭撻をよろし  
くお願いいたします。町のことを色々と  
教えて頂けると幸いです。



山本さん 永井さん 黒田さん

まちおこし推進員の皆さんとPonteを  
活用した事業企画やチャレンジSHOP  
の調査企画などを計画しております！  
会員皆さんの暖かい声援とご支援  
をいただければ幸いです。

ナガイ タケン  
**永井 健士**さん

4月から「町おこし推進員」となりました永井健士と申します。3月までは東京のWeb制作会社で、主にホテルのホーム  
ページを作っておりました。北海道のホテルを複数担当した事から池田町にも足を運ぶ様になり、昨年だけで3回、内1回  
はワインまつりにも参加させていただきました。これまでの訪問での池田町の皆様の温かさ、美味しい食べ物・飲み物、そし  
て、青くて高い空と美しい風景のある池田町のお役に少しでも立てればと、地域おこし協力隊になりました。  
旅人だった時の目線も忘れず多くの人に池田町を知ってもらい足を運んでいただける様、皆様とのご縁を大事にしつつ微力  
ながら活動して参ります。よろしくお願い致します。

クロダ トモキ  
**黒田 知樹**さん

平成28年4月より、地域おこし協力隊として着任しました  
黒田知樹と申します。自己紹介の機会をいただきました  
ので、複雑な私の経歴や趣味について書きたいと思いま  
す。

1986年、札幌市で生まれ、高校卒業までの18年間に  
札幌で過ごす。卒業後はオーストラリアに10か月滞在、  
帰国後は運良く札幌市職員となる。無謀にも民間企業  
の営業職へ転職し、北海道内、関東圏への出張が増え

る中、改めて北海道の魅力に気づき、北  
海道定住地探しの旅へ。

斜里町、赤井川村、北見市、上川町、  
ニセコ町を順に拠点としながら、周辺地域  
を見て回る中、十勝、道東の風景や食べ  
物に強く惹かれる。そんな時、池田町の  
協力隊募集を知り、迷わず応募。またも  
運良く合格。そして現在に至ります。

趣味は野球、ギター、スノーボード、旅行、  
映画、読書等々です。

## 商工会月刊ダイアリー 6月

1日	商工会巡回健康診断	商工会館
6日	花壇整備事業（花植え）	大通商店街